

○ 学生支援部門

1. はばたく茨大生 春の報告会 主催 (資料 その他-1)

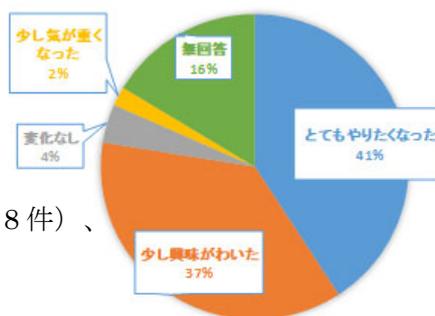
日時：2017年5月31日(水) 13:00～15:30

場所：茨城大学理学部 K 棟 1F インタビュースタジオ

内容：前半後半に企画を分け、前半口頭発表(8分/件,計8件)、
後半ポスター発表(18件)

参加者：約100名

成果評価：参加者アンケートでは、この企画に参加して学外学修への関心は参加差者の78%の者で高まったとしており、企画目的は概ね達成できたものと判断された。



2. 2017 前期 学長と学生の懇談会 主催 (資料 その他-2)

日時：2017年7月24日(月) 14:00～17:00

場所：水戸キャンパス 共通教育棟 2号館 4F 47番教室

内容：新入生を対象に大学入学前後での大学生活における印象の違いをはじめ、大学生活全般で感じたことなどについて即時統計表を
用いて学長が質問しながら議論を深めた。

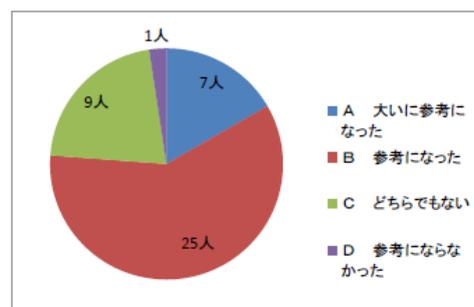


出された学生の意見は当該部局に問い合わせ、対応内容一覧を学内に掲示し学生への周知を図り、学生と教職員とのパートナーシップ向上を目指した。

参加者：学生53名(5学部、1年次)、教職員11名(三村学長、太田理事・副学長ほか)。

成果評価：懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

1. 懇談会の内容は参考になりましたか？



3. 2017 後期 学長と学生の懇談会 主催 (資料 その他-3)

日時：2017年12月6日(水) 14:00～17:00

場所：水戸キャンパス 共通教育棟 2号館 4F 41番教室

内容：学部2～4年次を対象として、これまでの学生生活全般を通して感じたことから、茨大における学習環境及び学生生活向上に向けて様々な視点から意見要望を出してもらい、三村学長の進行のもと議論を深めた。前期の懇談会と同様、出された学生の意見は当該部局に問い合わせ、対応内容一覧を学内に掲示し学生への周知を図り、学生と教職員とのパートナーシップ向上を目指した。

参加者：学生43名(5学部、2～4年次)、教職員9名(三村学長、太田理事・副学長ほか)。

成果評価：懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

4. 学長と理学部代表学生との懇談会 主催 (資料 その他-4)

日時：2017年11月22日(水) 14:00～15:00

場所：水戸キャンパス 学長室

内容：理学部における教職員と学生との懇談会（理学部モニター会）にて学生から出された意見要望のうち、学部では対応不可能であり全学で検討してほしい内容があり、それらについて理学部代表学生と学長が直接話し合う場を設け、改善に向け意見交換した。

参加者：学生 7 名（理学部、1～4 年次）、教職員 6 名（三村学長、太田理事・副学長、西川執行部スタッフ（学生支援）、中井英一（理学部 教学点検委員長）、野澤恵（理学部 教員）、二橋美瑞子（理学部教員））。

成果評価：少人数での濃密な意見交換になった。

懇談会后、議論にあがった 1 つの駐車場の木の整備が行われた。



5. バリアフリー推進室関連

1-① 体制整備

- (1) 茨大なんでも相談室を 3 キャンパスとも機能強化し、原則臨床心理士がインターカーとして対応するようにした。 延べ相談人数：794 名（茨大なんでも相談室 3 キャンパス合計）
- (2) バリアフリー推進室日立分室、阿見分室を新設し、臨床心理士が相談対応する等機能強化を行った。

バリアフリー推進室	区分	水戸	日立	阿見	計
延べ人数 (名)		933	352	234	1519
キャンパス別相談件数	実人数 (名)	113	51	37	201

※参考として、H28 年度バリアフリー推進室・修学支援室（水戸キャンパス）の相談件数 ⇒ 延べ人数 307 名 実人数 41 名

- (3) 主に発達障害や精神障害のある学生の学習や休息のスペースとして、自主学习室(やすらぎルーム)を水戸キャンパス共通教育棟 1 号館 131 室に設置し、試験的運用を開始した。利用延べ人数 135 名
- (4) ピアサポーターの養成及びその活動場所としてピアサポ室を水戸キャンパス共通教育棟 1 号館 110 室に新設し、平成 30 年 4 月 1 日スタートに備えた。
- (5) 「茨城大学における障害のある学生のためのバリアフリー推進に関する基本方針」を制定した。

- (6) 平成 30 年度入試から障害等のある入学志願者の事前相談窓口を入学課からバリアフリー推進室へ変更し、入学志願者の利便性向上を図った。⇒ 受験上等配慮人数 実人数 7 名、述べ相談人数 20 名

1-② 学生支援関連 FD の実施

障害のある学生支援関連 FD を、全学部及び全学教育機構において計 8 回実施した。⇒ 参加教職員計 378 名

- (1) 障害者差別解消法と合理的配慮の具体的実施について

参加者：農学部 教職員 49 名

日時：平成 29 年 3 月 15 日（水）13 時 30 分-14 時 00 分（前年度末先行実施）

場所：農学部第 1 会議室

- (2) 障害者差別解消法施行後の学生支援について

参加者：工学部 教職員 119 名

日時：平成 29 年 4 月 19 日（水）13:15～13:45

場所：工学部 E5 棟 8 階イノベーションルーム



- (3) 障害者差別解消法施行後の学生支援について

参加者：全学教育機構 教職員 48 名

日時：平成 29 年 5 月 31 日（水）16:00～16:30

場所：共通教育棟 1 号館 1 階第 1 会議室

- (4) 障害者差別解消法施行後の学生支援について

参加者：人文社会科学部 教職員 42 名、理学部 教職員 38 名

日時：平成 29 年 6 月 21 日（水）13:00～13:40

場所：人文社会科学部講義棟 15 番教室／理学部第 8 講義室（VCS で配信）

- (5) 障害者差別解消法施行後の学生支援について

参加者：教育学部 教職員 82 名

日時：平成 29 年 7 月 19 日（水）13:15～14:00

場所：教育学部 A 棟 2 階プレゼンテーションルーム

- (6) 学生支援事例対応について

参加者：全学教育機構共通教育部門プラクティカル・イングリッシュ 部会 6 名

日時：平成 29 年 7 月 19 日（水）14:30～15:50

場所：共通教育棟 1 号館 2 階 200-B 室

- (7) 障害者差別解消法と授業における学生対応について

参加者：全学教育機構共通教育部門プラクティカル・イングリッシュ 部会 19名

日時：平成29年11月27日（月）12:10～13:10

場所：共通教育棟1号館2階2A講義室

(8) 授業における発達障害のある学生への対応について

参加者：全学教育機構共通教育部門心と体の健康部会 13名

日時：平成29年11月20日（月）12:00～12:30

場所：教育学部D棟109室

1-③ いきいき茨城ゆめ大会 iOP 関連

本学学生を対象とした、いきいき茨城ゆめ大会2019ボランティアiOP準備のための説明会を茨城県庁協力のもと2回実施した。

参加者：67名（人・教・理・工学部）

日時：平成30年1月24日（水）13:00-14:00

場所：人文社会科学部講義棟10番教室



参加者：8名

日時：平成30年2月13日（火）16:00-17:00

場所：共通教育棟2号館22番教室

1-④ ピアサポーター関連

障害等のある学生を学生同士で支援するピアサポーター制度の充実のため研修会等を実施した。

(1)ピアサポーター育成

登録者:18名（情報提供希望者66名（左記含む））

(2)ピアサポーター研修会

・ ノートテイク講座

参加者：学生計16名

日時：平成29年5月17日 13:00-15:30 及び 平成29年5月24日 13:00-15:30

場所：共通教育棟2号館21番教室

・ 車いす介助講習

参加者：学生1名 教員5名 職員1名

日時：平成29年8月25日 10:30-12:00

場所：共通教育棟1号館111室及び水戸キャンパス構内

・ 平成29年度第1回ピアサポーター説明会

参加者：学生10名

日時：平成29年9月11日（月） 10:30-12:00

場所：共通教育棟 2 号館 21 番教室

・平成 29 年度第 2 回ピアサポーター説明会

参加者：学生 9 名

日時：平成 30 年 3 月 26 日（月）10:30-12:00

場所：共通教育棟 2 号館 22 番教室

1-⑤ アクセシビリティリーダー育成関連

多様な可能性を開拓する社会の構築を推進していくために必要なアクセシビリティに関する知識・技術・経験とコーディネート能力をもった人材を輩出することを目的とした、アクセシビリティリーダーの育成のための体制整備等を行った。

H29 年度は、アクセシビリティリーダー育成協議会より、本学の加入及び、アクセシビリティリーダー教育第 1 課程の承認を得て所定の講座を開講し、本学からアクセシビリティリーダー認定試験 2 級合格者 15 名（内、学生 6 名、教員 4 名、職員 5 名）を輩出した。



1-⑥ 広報活動

学生支援センターWEB サイト構築、運用開始 (<http://ssc.lae.ibaraki.ac.jp/>)

6. キャリアセンター関連

2-① 就職ガイダンス

日時：毎週水曜 3 限

開催回数：34 回（水戸キャンパス）

参加者：合計 2235 名

場所：図書館 1 階共同学習エリア ほか

内容：学生のインターンシップ参加や就職活動支援ガイダンス

2-② 合同企業説明会

日時：2018 年 3 月 2 日（土）、3 日（日）、4 日（月）10:30～17:30

場所：図書館 1 階共同学習エリア

内容：学部 3 年生、修士 1 年生を対象とした就職のための企業説明会

参加者：学生延べ人数 543 名、企業 216 社



2-③ インターンシップマッチングフェア

(1) 茨城大学学内インターンシップマッチングフェア キャリアセンター主催

日時：2017 年 11 月 8 日（水）14:30～16:20

場所：図書館 1 階共同学習エリア

内容：茨城県内企業への就職を考える、学部 1 年～3 年生を対象とした、企業等 15 社のインターンシップマッチングフェア

参加者：48 名



(2) 業界研究・インターンシップマッチングフェア COC プラス
事業と共催

日時：2017 年 7 月 8 日（土）13:00～16:00

場所：三の丸ホテル

内容：学部 1 年～3 年生を対象とした企業等 23 社のインターンシップマッチングフェア

参加者：72 名（内茨大生 32 名）

2-④ 業界研究

(1) 地元企業魅力発見セミナー キャリアセンター主催

日時：2017 年 10 月 18 日（水）14:20～15:50

場所：図書館 1 階共同学習エリア

内容：学部 1 年～3 年生を対象とし、地元企業の OB・OG と地元で働くことなどについて考えるセミナー

参加者：12 名

(2) 企業訪問バスツアー キャリアセンター主催

日時：2017 年 11 月 1 日（水）13:00～17:40

場所：（株）旭物産、木内酒造合資会社

内容：企業を訪問し、会社説明・職場見学・若手職員との座談会・質疑応答

参加者：8 名

(3) 業界研究会

日時：10 月～2 月

場所：キャリアセンター

参加企業：12 業界

内容：学生が直接業界の情報が濃密にできる機会として学内に企業を迎え開催

2-⑤ 実践的な就職支援

(1) 就活ベーシック講座

開催回数：6 回

内容：少人数でのエントリーシート作成指導、面接対策

参加者：延べ 56 名

(2) 面接練習会

開催回数：15回

参加者：36名

(3) グループディスカッション対策講座

開催回数：22回

参加者：128名

(4) 就職模擬面接会 人文学部と共催

開催日：2018年1月10日（水）

場所：人文学部

内容：2社の企業人事担当者を迎えての模擬面接会

(5) 内定者セミナー 人文学部と共催

開催日：2018年1月17日（水）

場所：図書館1階共同学習エリア

内容：今年度内定の決まった4年生による3年生への就活のノウハウの説明会

(6) 内定者による就活支援サークル'With'主催の講座・イベント

開催日：1月～2月 複数回開催

場所：キャリアセンター

内容：これから就職活動をする3年生に対しグループディスカッションの練習、キャリアセンターイベントの広報等

2-⑥就職支援関連における上記以外の活動

・未内定学生の就職支援

未内定学生の就職活動を支援するための6月末から7月にかけて学部4年生、修士2年生向けの学内個別説明会を企画し、11社25名の参加があった。

・茨城県と茨城大学における就職促進に関する協定書の締結

7/25 茨城県と茨城大学が互いに連携・協力し、大学等における地方創生の取り組みに資するとともに、本県へのUIJターンと地元就職・定着の支援を通じて、地域産業を担う人材の確保と地元定着を図ることを目的として「茨城県と茨城大学における就職促進に関する協定書」を締結した。（県と協定を結んだのは本学含め県内5大学、県外7大学）

・インターンシップ参加保険の見直し

インターンシップに参加する際の加入保険の取扱いを見直し、今まで保険の対象外となっていたインターンシップを学生の届け出を受け、大学行事として認めることで、これらのインターンシップについて保険の対象内で扱えるようにした。

・就職応援ブック編集発行

学生の就職活動を支援するため、学部3年、修士1年生を対象とした「茨城大学就職応援ブッ

ク」を発行した。

・留学生のための就職説明会

H29 年度初の試みで、H29 年度は共通教育棟 1 号館 1F キャリアセンター内にて 2 回開催し、参加者は延べ 21 名だった。内容は、日本での就職を希望する留学生に対し、就職活動の基本（日本の採用システム、提出書類、面接の方法）について概要を説明した。

7. その他

3-① はばたく茨大生 春の報告会 主催 【資料 その他-1】

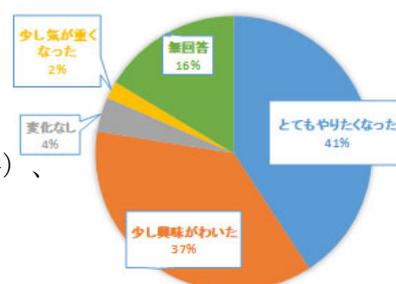
日時：2017 年 5 月 31 日（水）13:00～15:30

場所：茨城大学理学部 K 棟 1F インタビュースタジオ

内容：前半後半に企画を分け、前半口頭発表（8 分/件、計 8 件）、後半ポスター発表（18 件）

参加者：約 100 名

成果評価：参加者アンケートでは、この企画に参加して学外学修への関心は参加差者の 78%の者で高まったとしており、企画目的は概ね達成できたものと判断された。



3-② 「ICAS サステナ対話の広場」への「2017 年度 はばたく茨大生 春の報告会」ポスター展示 協賛(主催：ICAS) 【資料 その他-2】

日時：2017 年 5 月 22 日（水）～6 月 2 日（金）9:00～17:00

場所：茨城大学 図書館本館 1F 展示室

内容：①の企画についての前宣伝を兼ね、①のポスターを ICAS 主催の「ICAS サステナ対話の広場」の企画の一部として展示した。

3-③ 2017 前期 学長と学生の懇談会 主催 【資料 その他-3】

日時：2017 年 7 月 24 日（月）14:00～17:00

場所：水戸キャンパス 共通教育棟 2号館 4F 47 番教室

内容：新入生を対象に大学入学前後での大学生活における印象の違いをはじめ、大学生活全般で感じたことなどについて即時統計表示されるクリッカーを用いて学長が質問しながら議論を深めた。



出された学生の意見は当該部局に問い合わせ、対応内容一覧を学内に掲示し学生への周知を図り、学生と教職員とのパートナーシップ向上を目指した。

参加者：学生 53 名（5 学部、1 年次）、教職員 11 名（三村学長、太田理事・副学長ほか）。

成果評価：懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

3-④ 2017 後期 学長と学生の懇談会 主催 【資料 その他-4】

日時：2017年12月6日（水）14:00～17:00

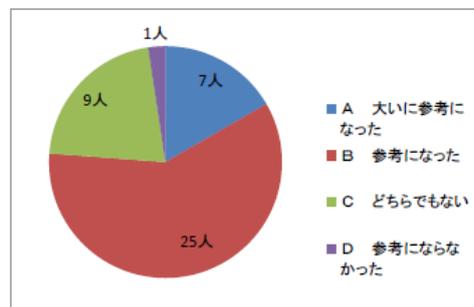
場所：水戸キャンパス 共通教育棟 2号館 4F 41番教室

内容：学部2～4年次を対象として、これまでの学生生活全般を通して感じたことから、茨大における学習環境及び学生生活向上に向けて様々な視点から意見要望を出してもらい、三村学長の進行のもと議論を深めた。前期の懇談会と同様、出された学生の意見は当該部局に問い合わせ、対応内容一覧を学内に掲示し学生への周知を図り、学生と教職員とのパートナーシップ向上を目指した。

参加者：学生43名（5学部、2～4年次）、教職員9名（三村学長、太田理事・副学長ほか）。

成果評価：懇談会終了後の参加学生を対象としたアンケート調査結果から、概ね目的は達成されたと判断された。

1. 懇談会の内容は参考になりましたか？



3-⑤ 学長と理学部代表学生との懇談会 主催 （資料 その他-5）

日時：2017年11月22日（水）14:00～15:00

場所：水戸キャンパス 学長室

内容：理学部における教職員と学生との懇談会（理学部モニター会）にて学生から出された意見要望のうち、学部では対応不可能であり全学で検討してほしい内容があり、それらについて理学部代表学生と学長が直接話し合う場を設け、改善に向け意見交換した。

参加者：学生7名（理学部、1～4年次）、教職員6名（三村学長、太田理事・副学長、西川執行部スタッフ（学生支援）、中井英一（理学部 教学点検委員長）、野澤恵（理学部 教員）、二橋美瑞子（理学部教員））。

成果評価：少人数での濃密な意見交換になった。懇談会后、議論にあがった1つの駐車場の木の整備が行われた。